

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査・学校通信教育調査]

1 幼稚園

(1) 幼稚園数

- ・ 幼稚園数は 511 園（本園 506 園、分園 5 園）で、前年度と同数であった。
- ・ 設置者別にみると、国立 1 園、公立 265 園、私立 245 園となっている。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 2,774 学級で、前年度に比べ 28 学級減少した。
- ・ 1 学級当たりの園児数は 21.9 人で、前年度に比べ 0.3 人減少した。

(3) 園児数

- ・ 園児数は 60,884 人（男 30,916 人、女 29,968 人）で、前年度に比べ 1,317 人減少した。
- ・ 年齢別にみると、3 歳児が 19,298 人、4 歳児が 20,378 人、5 歳児が 21,208 人となっている。
- ・ 設置者別にみると、国立 130 人、公立 20,751 人、私立 40,003 人となっている。
- ・ 定員充足率は、公立幼稚園で 55.3%（前年度に比べ 3.2 ポイント低下）、私立幼稚園で 72.0%（同 0.8 ポイント低下）となっている。

図1 園数、園児数、教員数の推移

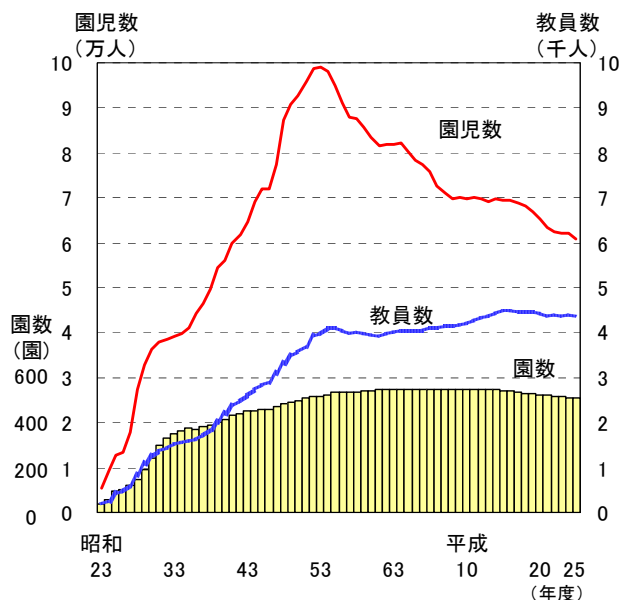
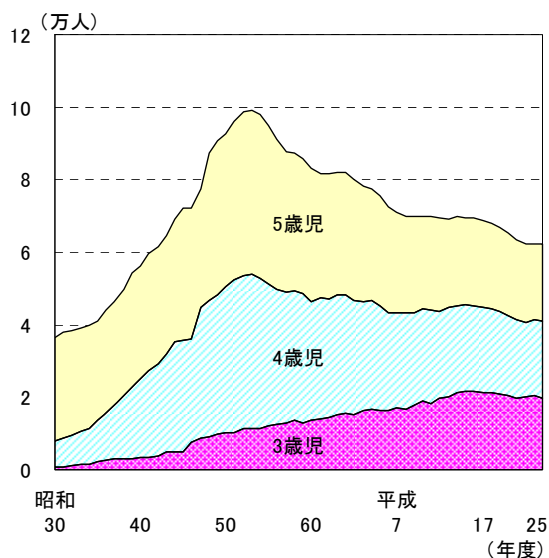


図2 園児数の推移(年齢別)



(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は4,354人（男 246人、女 4,108人）で、前年度に比べ40人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は94.4%で、前年度より0.2ポイント低下した。
- ・ 本務教員1人当たりの園児数は14.0人（全国14.2人）で、前年度に比べ0.2人減少した。設置者別にみると、公立12.4人、私立14.9人となっている。

図3 本務教員1人当たりの園児数の推移



2 小学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は520校（本校515校、分校5校）で、前年度に比べ3校減少した。設置者別にみると、国立2校、公立514校、私立4校となっている。
- ・ 特別支援学級（旧75条学級）を置く学校数は286校で、前年度比べ7校増加した。

(2) 学級数

- ・ 学級数は7,690学級で、前年度に比べ43学級増加した。
- ・ 特別支援学級数は580学級で、前年度に比べ31学級増加し、全学級数に占める割合は7.5%となっている。複式学級は91学級で、前年度に比べ1学級増加した。
- ・ 1学級当たりの児童数は26.3人（全国24.4人）で、前年度より0.5人減少した。

(3) 児童数

- ・ 児童数は202,275人（男103,735人、女98,540人）で、前年度に比べ2,947人減少した。
- ・ 設置者別にみると、国立1,088人、公立199,932人、私立1,255人となっている。
- ・ 第1学年の児童数に対する幼稚園修了者の比率は64.2%（全国54.8%）で、前年度に比べ0.1ポイント上昇した。

図4 学校数、児童数、教員数の推移

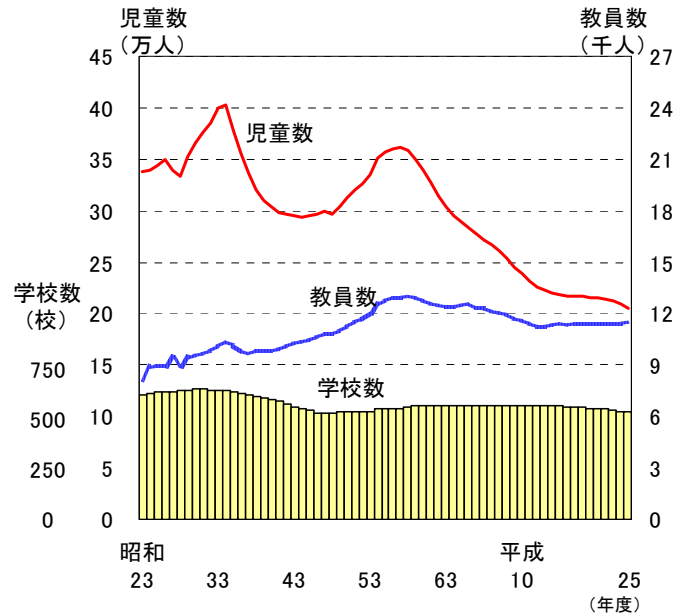
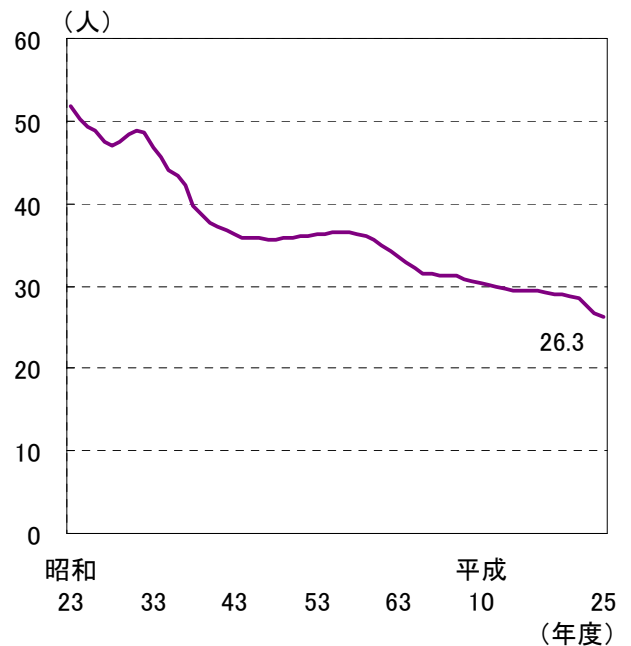


図5 1学級当たりの児童数の推移



- 平成 24 年度間の帰国児童数は 249 人で、前年度に比べ 29 人減少した。

- 外国人児童数は 2,433 人で、前年度に比べ 48 人減少した。全児童に占める割合は 1.2% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 11,480 人（男 4,662 人、女 6,818 人）で、前年度に比べ 14 人増加した。

- 女性教員の占める割合は 59.4%（全国 62.5%）で、前年度に比べ 0.1 ポイント低下した。

(5) 長期欠席者数

- 平成 24 年度間の長期欠席者数は 1,357 人で、前年度に比べ 38 人減少した。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 56.0%、次いで「病気」が 28.7% となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 6.6 ポイント低下し、「病気」の割合は 5.6 ポイント上昇した。

- 児童 1,000 人当たりの長期欠席者数は 6.6 人（全国 8.0 人）で、前年度に比べ 0.1 人減少した。そのうち「不登校」によるものは 3.7 人となっている。

図6 帰国児童、外国人児童数の推移

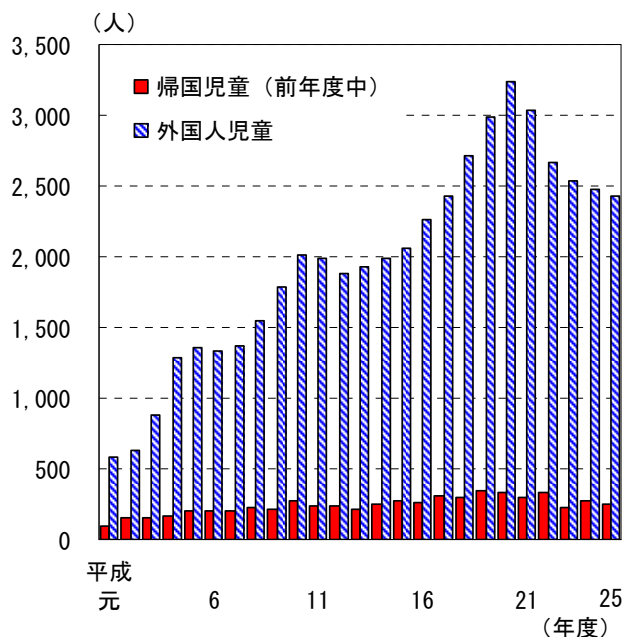
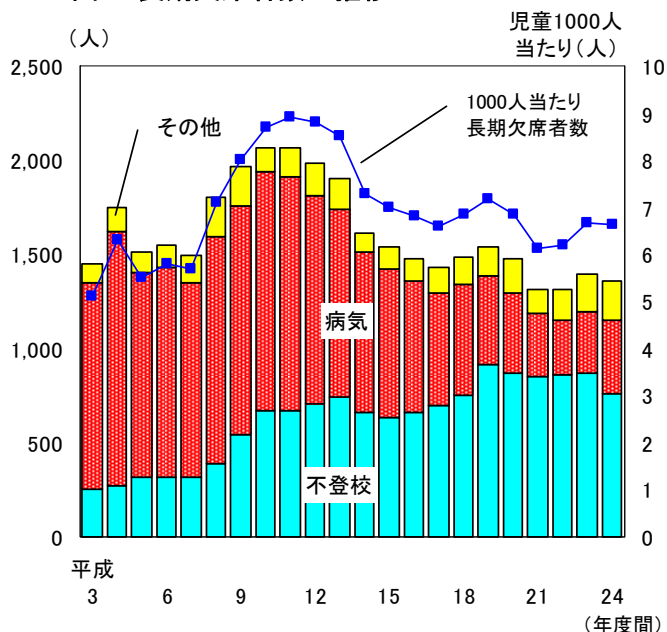


図7 長期欠席者数の推移



3 中学校

(1) 学校数

- 学校数は 295 校（本校 294 校、分校 1 校）で、前年度と同数であった。設置者別にみると、国立 3 校、公立 265 校、私立 27 校となっている。
- 特別支援学級を置く学校は 159 校で、前年度と同数であった。

(2) 学級数

- 学級数は 3,707 学級で、前年度に比べ 14 学級増加した。
- 特別支援学級数は 295 学級で、前年度に比べ 1 学級増加した。全学級数に占める割合は 8.0%となっている。
- 1 学級当たりの生徒数は 28.8 人（全国 28.8 人）で、前年度に比べ 0.2 人減少した。

(3) 生徒数

- 生徒数は 106,781 人（男 54,945 人、女 51,836 人）で、前年度に比べ 214 人減少した。
- 設置者別にみると、国立 1,192 人、公立 100,631 人、私立 4,958 人となっている。

図8 学校数、生徒数、教員数の推移

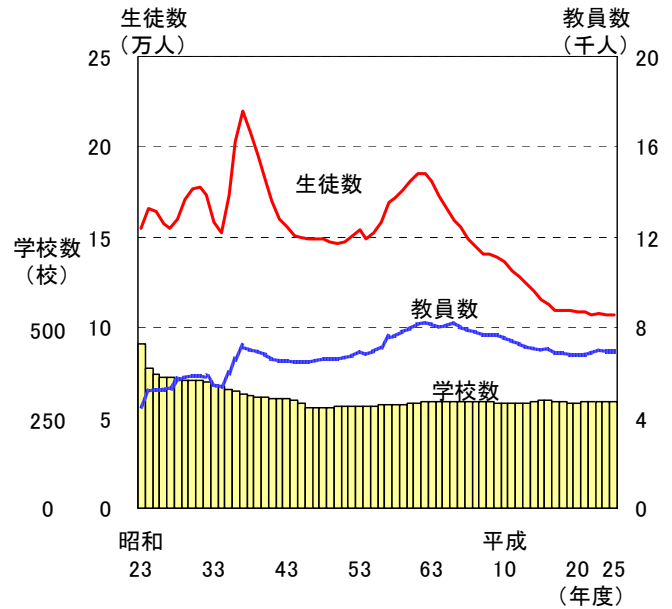
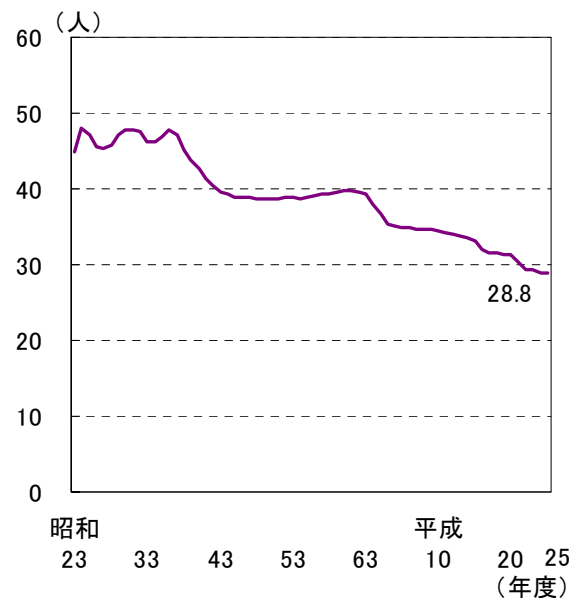


図9 1 学級当たりの生徒数の推移



- 平成 24 年度間の帰国生徒は 109 人で、前年度に比べ 4 人増加した。

- 外国人生徒数は 1,337 人で、前年度に比べ 6 人増加し、全生徒数に占める割合は 1.3% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 6,954 人（男 4,378 人、女 2,576 人）で、前年度に比べ 8 人減少した。

- 女性教員の占める割合は 37.0%（全国 42.5%）で、前年度に比べ 0.1 ポイント低下した。

(5) 長期欠席者数

- 平成 24 年度間の長期欠席者数は 3,417 人で、前年度に比べ 61 人増加した。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 85.7%、次いで「病気」が 8.6% となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 1.0 ポイント低下し、「病気」の割合は 1.3 ポイント低下した。

- 生徒 1,000 人当たりの長期欠席者数は 31.9 人（全国 34.2 人）で、前年度に比べ 0.7 人増加した。そのうち「不登校」によるものは 27.4 人となっている。

図10 帰国生徒、外国人生徒数の推移

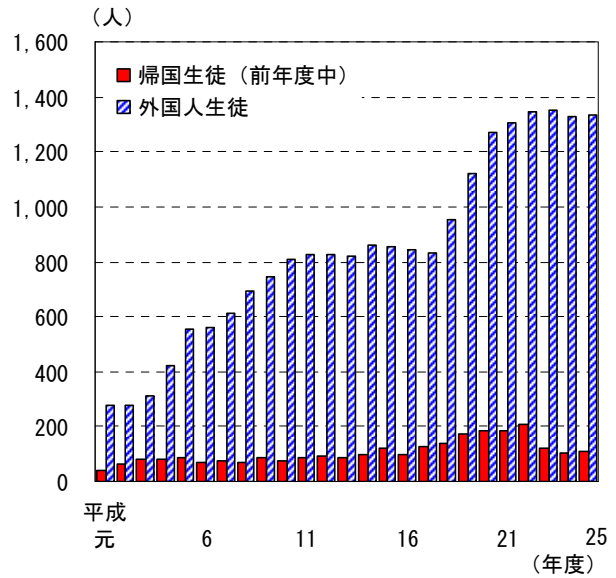
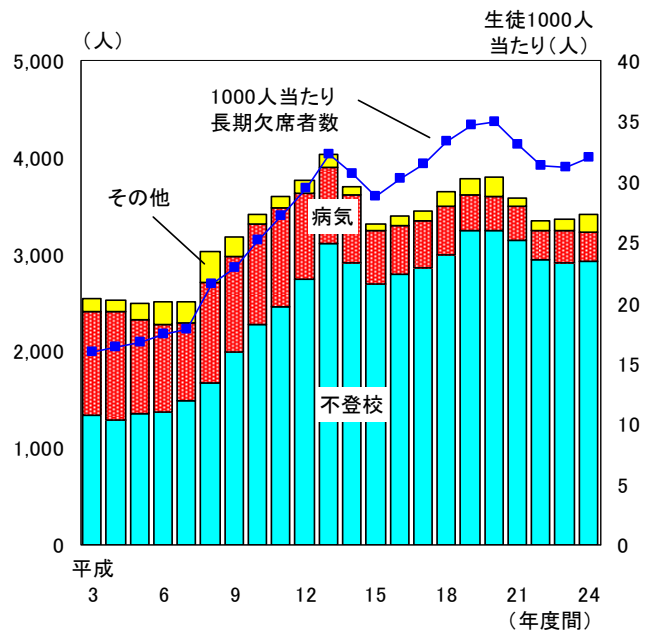


図11 長期欠席者数の推移



4 高等学校

(全日制・定時制)

(1) 学校数

- ・ 学校数は142校（本校140校、分校2校）で、前年度に比べ2校減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立99校（本校97校、分校2校）で、前年度に比べ2校減少し、私立43校（本校のみ）で、前年度と同数であった。
- ・ 課程別にみると、全日制課程のみを置く学校が121校、定時制課程のみを置く学校が2校、全日制・定時制の両課程を併置している学校が19校となっている。

(2) 小学科数

- ・ 小学科数（本科）は、全日制270学科、定時制21学科、計291学科となっている。
- ・ 学科別にみると、普通科が124学科で最も多く、次いで工業科57学科、商業科33学科、農業科21学科の順となっている。

* 小学科数は生徒が在籍している学科の数である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は99,974人（男50,780人、女49,194人）で、前年度に比べ1,533人減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立68,479人、私立31,495人となっている。

図12 学校数、生徒数、教員数の推移

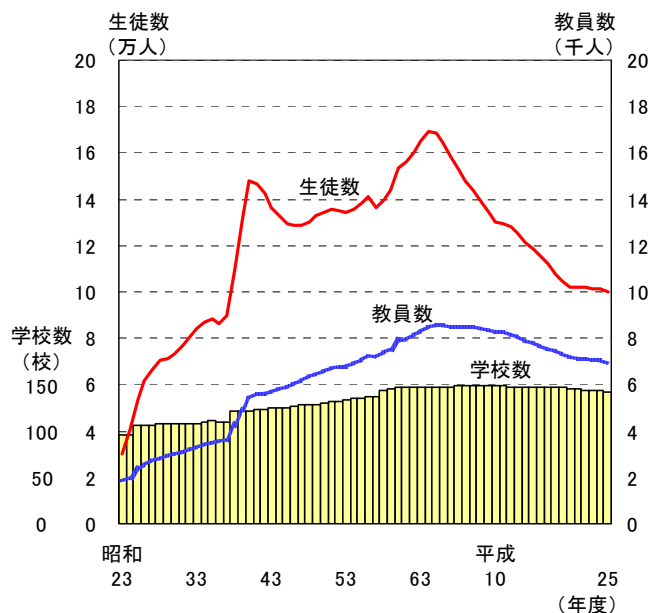


表1 学科別小学科数・生徒数(本科)

区分	小学科数	生徒数
普通科	124	68,114
農業科	21	2,448
工業科	57	7,719
商業科	33	8,782
水産科	4	471
家庭科	4	482
福祉科	6	674
総合学科	9	4,861
その他	33	6,400
計	291	99,951

- 全生徒数のうち本科の生徒数は 99,951 人で前年度に比べ 1,535 人減少した。

また、専攻科の生徒数は 23 人で、前年度より 2 人増加した。

- 本科の生徒数のうち、全日制課程の生徒数は 96,613 人で、前年度に比べ 1,303 人減少し、全日制課程の生徒数の占める割合は 96.7%となっている。

- 本科の生徒数のうち、定時制課程の生徒数は 3,338 人で、前年度に比べ 232 人減少した。

- 本科の生徒数を学科別にみると、普通科が 68,114 人（全体の 68.1%）で最も多く、次いで商業科 8,782 人（同 8.8%）、工業科 7,719 人（同 7.7%）、総合学科 4,861 人（同 4.9%）の順となっている。

- 平成 24 年度間の帰国生徒数（本科）は 49 人（公立 13 人、私立 36 人）で、前年度に比べ 6 人減少した。

- 外国人生徒数は、885 人（公立 670 人、私立 215 人）で、前年度に比べ 12 人増加した。

(4) 入学者数

- 本科の入学者数は 33,804 人（全日制課程 32,834 人、定時制課程 970 人）で、前年度に比べ 500 人減少した。

- 入学志願者に対する入学者の割合は、公立 90.0%、私立 34.3%となっている。

- 入学定員に対する入学者の割合は、公立 98.6%、私立 87.5%となっている。

図13 学科別生徒数(本科)

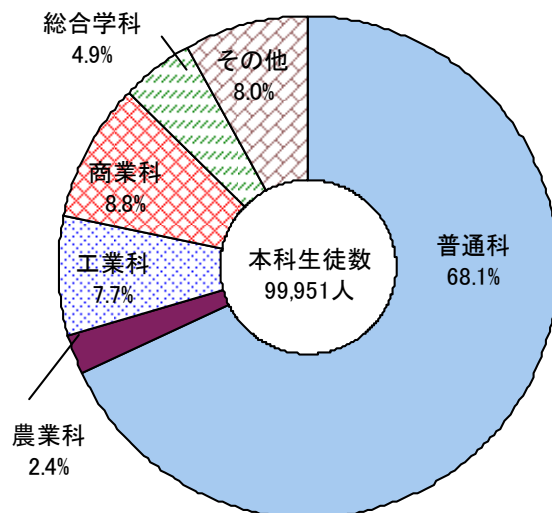
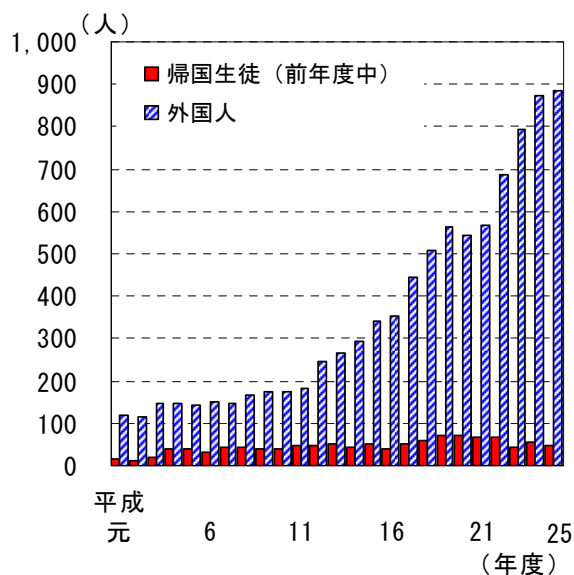


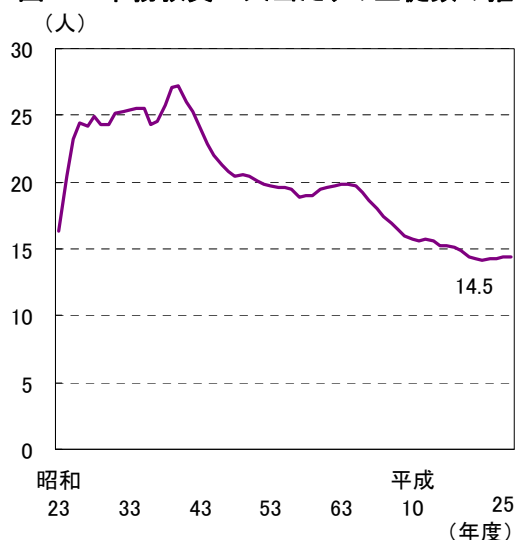
図14 帰国生徒、外国人生徒数の推移



(5) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 6,907 人（男 4,998 人、女 1,909 人）で、前年度に比べ 132 減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は 27.6%（全国 30.7%）で、前年度に比べ 0.2 ポイント上昇した。
- ・ 本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.5 人（全国 14.1 人）で、前年度と比べ 0.1 人増加した。

図15 本務教員 1 人当たりの生徒数の推移



(通信制)

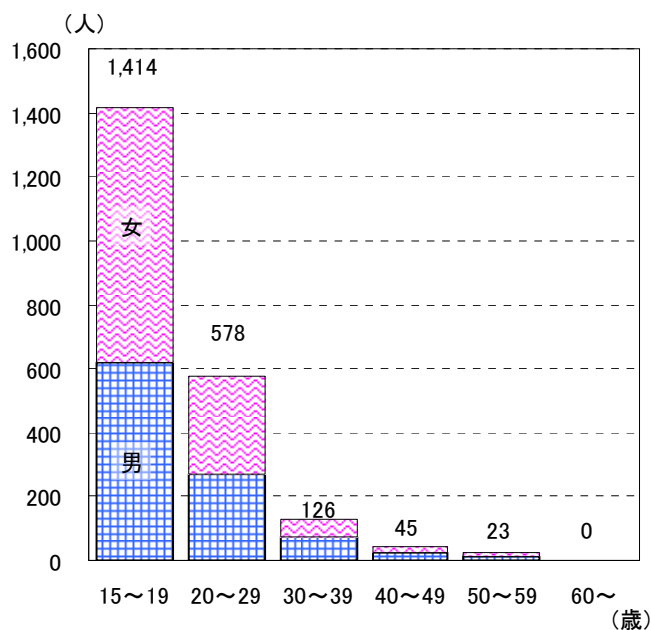
(1) 学校数

- ・ 学校数は 2 校（うち定時制と併置 1 校）で、前年度と同数となっている。

(2) 生徒数

- ・ 生徒数は 2,186 人（男 996 人、女 1,190 人）で、前年度に比べ 85 人減少した。
- ・ 年齢別にみると、10 歳代が全体の 64.7%で最も多く、20 歳代が 26.4%、30 歳代以上が 8.9%となっている。

図16 年齢別生徒数



(3) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 57 人で、前年度に比べ 4 人増加した。

5 特別支援学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 37 校で、前年度に比べ 2 校増加した。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 1,139 学級で、前年度に比べ 30 学級増加した。

(3) 在学者数

- ・ 在学者数は 4,679 人で、前年度に比べ 154 人増加した。

【内訳】

・ 幼稚部	41 人
・ 小学部	1,718 人
・ 中学部	1,012 人
・ 高等部	1,908 人

(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 2,418 人で、前年度に比べ 44 人増加した。

図17 学校数、生徒数、教員数の推移

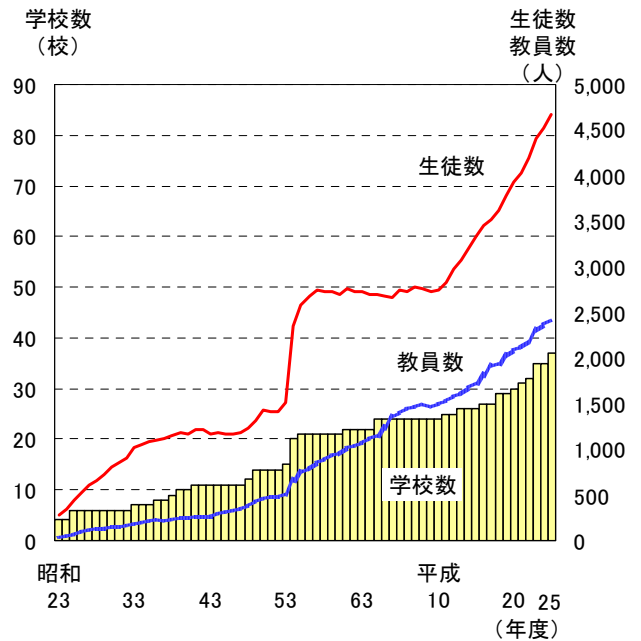
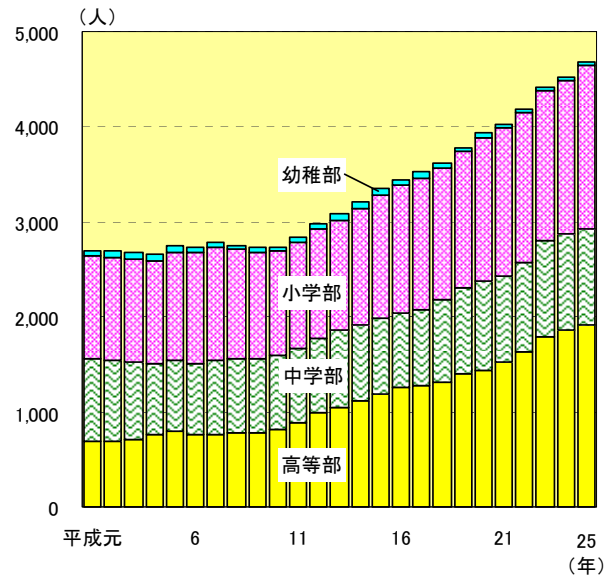


図18 児童・生徒数の推移



6 専修学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 96 校で、前年度に比べ 1 校減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立 10 校、私立 86 校となっている。

(2) 学科数

- ・ 学科数は、高等課程 18 学科、専門課程 202 学科、一般課程 15 学科、計 235 学科となっている。
- ・ 分野別にみると、医療関係、文化・教養関係が 44 学科で最も多く、次いで、商業実務関係 41 学科、工業関係 36 学科、衛生関係 28 学科、服飾・家政関係 25 学科の順となっている。
- ・ 修業年限別にみると、1 年～1 年 11 か月が 35 学科、2 年～2 年 11 か月が 115 学科、3 年以上が 85 学科となっている。
- ・ 昼夜別にみると、昼の課程が 223 学科、夜及び昼夜の課程が 12 学科となっている。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は 14,046 人（高等課程 1,401 人、専門課程 11,938 人、一般課程 707 人）で、前年度に比べ 183 人増加した。
- ・ 全生徒数のうち、女子は 7,891 人で全体の 56.2%を占めている。

図19 学校数、生徒数、教員数の推移

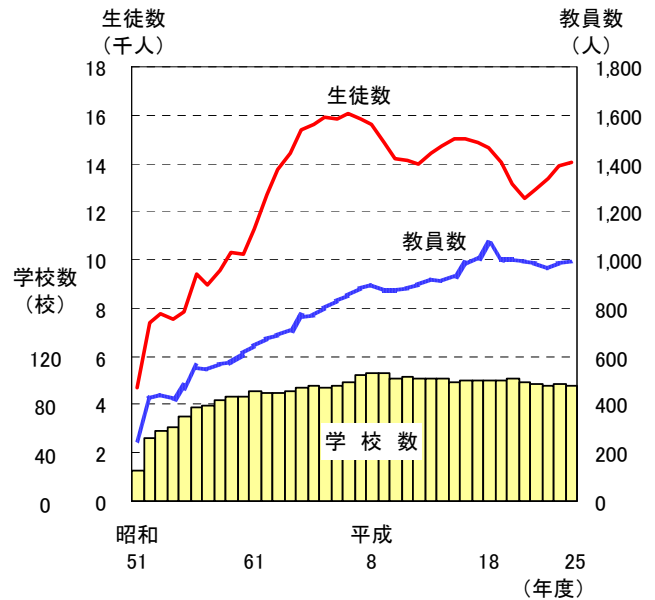
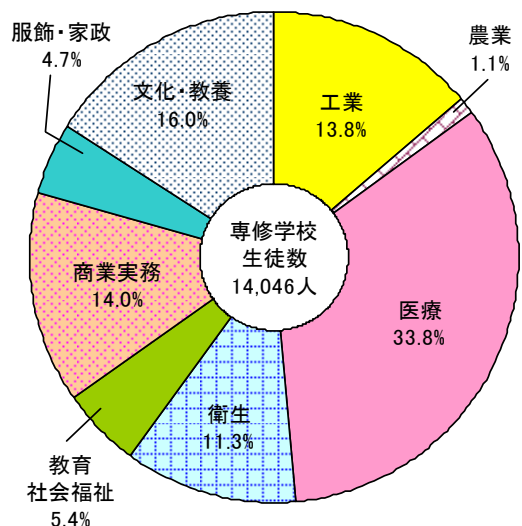


表2 分野別学科数・生徒数

区分	学科数	生徒数
工業	36	1,937
農業	6	154
医療	44	4,742
衛生	28	1,585
教育・社会福祉	11	756
商業実務	41	1,960
服飾・家政	25	660
文化・教養	44	2,252
計	235	14,046

図20 学科別生徒数割合



- ・ 学科別にみると、医療関係が最も多く 4,742 人で、次いで文化・教養関係 2,252 人、商業実務 1,960 人、工業関係 1,937 人、衛生関係 1,585 人の順となっている。

(4) 入学者数

- ・ 本年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの入学者数は 6,389 人（高等課程 516 人、専門課程 5,206 人、一般課程 667 人）で、前年度に比べ 38 人減少した。

- ・ 春期の入学定員に対する入学者の割合は、73.1%となっている。

(5) 卒業者数

- ・ 前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの卒業者数は 5,417 人（高等課程 418 人、専門課程 4,345 人、一般課程 654 人）で、前年度間に比べ 365 人増加した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者 992 人（男 486 人、女 506 人）、兼務者 2,835 人（男 1,687 人、女 1,148 人）で、前年度に比べ本務者は 4 人増加し、兼務者は 69 人減少した。

図21 学科別生徒数の推移

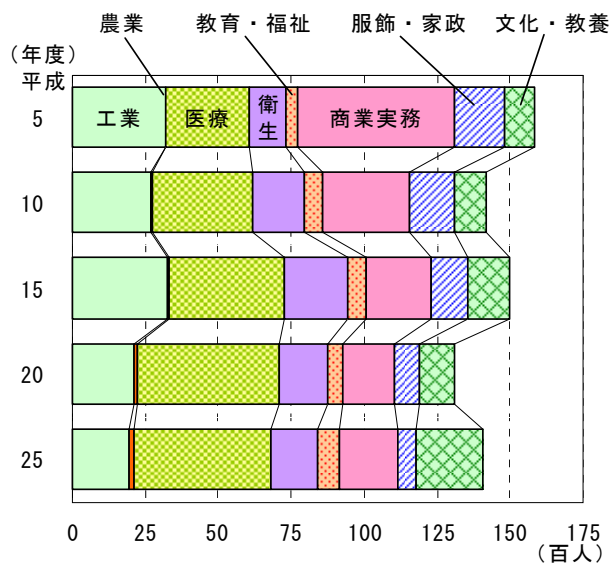
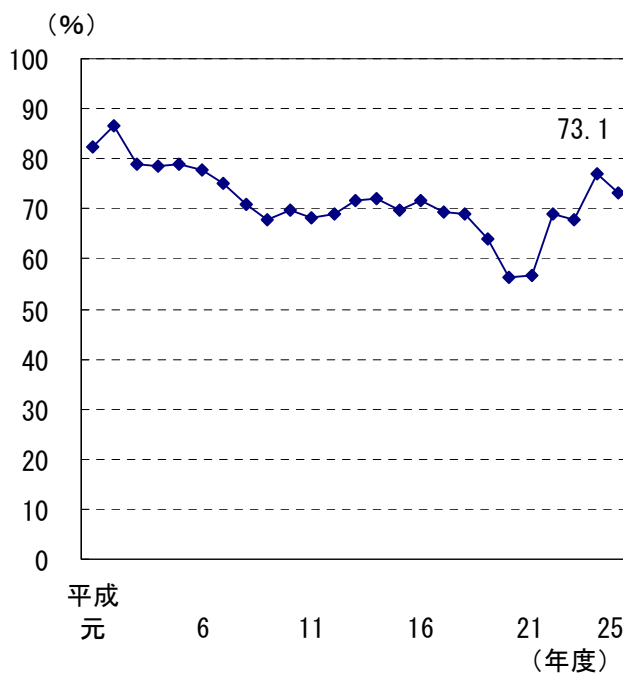


図22 春期入学者の定員充足率の推移



7 各種学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は37校（私立のみ）で、前年度に比べ1校減少した。

(2) 課程数

- ・ 課程数は、衛生関係1課程、商業実務関係17課程、家政関係6課程、文化・教養関係5課程、その他11課程、計40課程である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は1,681人で、前年度に比べ3人減少した。最も多い学科は、商業実務関係の653人（全体の38.8%）である。

(4) 入学者数

- ・ 本年4月1日から5月1日までの入学者は333人（男180人、女153人）で、前年度に比べ42人増加した。

(5) 卒業者数

- ・ 前年4月1日から本年3月31日までの卒業者は405人（男201人、女204人）で、前年度間に比べ54人減少した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者110人（男38人、女72人）、兼務者73人（男19人、女54人）で、前年度に比べ本務者は1人減少し、兼務者は18人増加した。

図23 学校数、生徒数、教員数の推移

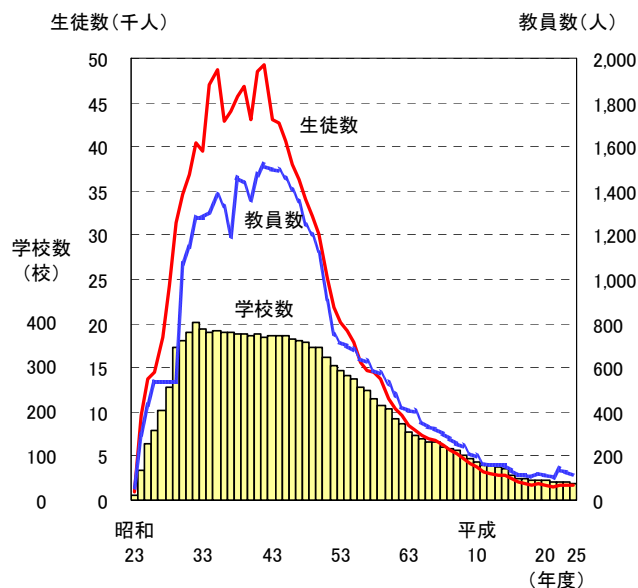
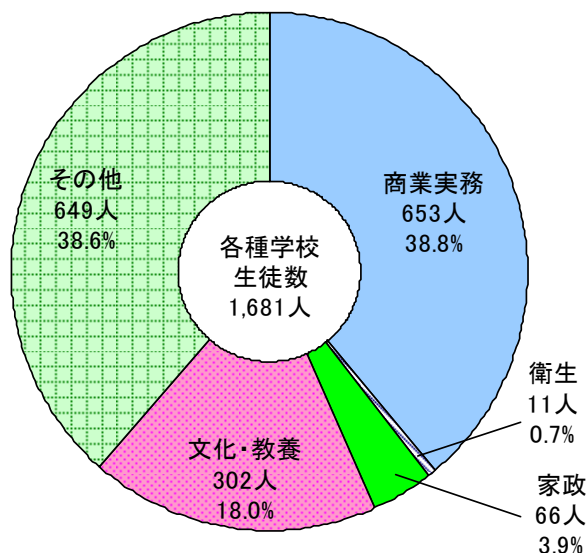


図24 学科別生徒数



[卒業後の状況調査]

1 中学校卒業後の状況

(1) 進路別卒業生数

- ・ 平成 25 年 3 月の中学校卒業生数は 35,404 人（男 17,965 人、女 17,439 人）で、前年に比べ 527 人減少した。
- ・ 高等学校等進学者は 34,709 人（男 17,558 人、女 17,151 人）で、前年に比べ 530 人減少した。
- ・ 専修学校及び各種学校への進学・入学者は 117 人（男 58 人、女 59 人）で、前年に比べ 13 人増加した。
- ・ 公共職業能力開発施設等入学者は 17 人（男 15 人、女 2 人）で、前年に比べ 4 人増加した。
- ・ 就職者数は、190 人（男 145 人、女 45 人）で、前年に比べ 51 人減少した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者 30 人（男 20 人、女 10 人）を含んでいる。

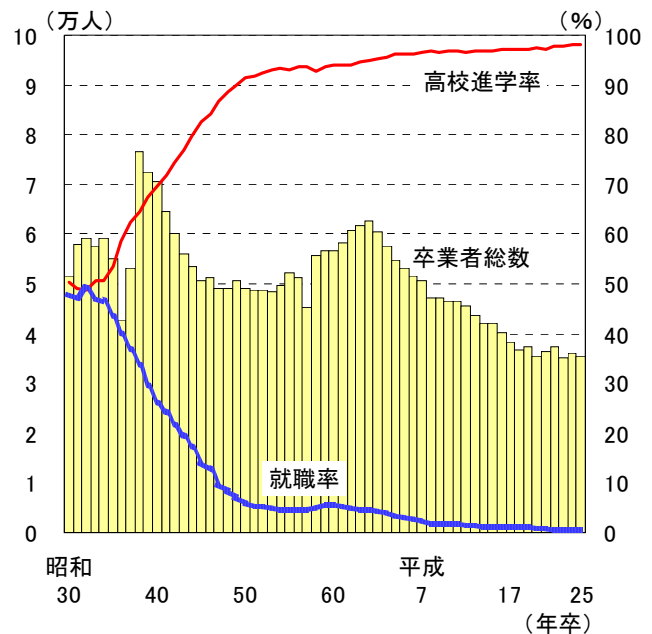
(2) 高等学校等進学率

- ・ 高等学校等進学率は 98.0%（全国 98.4%）で、前年に比べ 0.1 ポイント低下した。男子の進学率は 97.7%、女子は 98.3%で、男子、女子ともに前年に比べ 0.1 ポイント低下した。

(3) 就職率

- ・ 就職率は 0.5%（全国 0.4%）で、前年と比べて 0.2 ポイント低下した。

図25 中学校卒業生数、高等学校等進学率及び就職率の推移



2 高等学校卒業後の状況

(全日制・定時制)

(1) 進路別卒業生数

- 平成 25 年 3 月の高等学校卒業生数（全日制課程・定時制課程）は 33,516 人（男 17,047 人、女 16,469 人）で、前年に比べ 993 人増加した。
- 大学等進学者は 17,786 人（男 8,982 人、女 8,804 人）で、前年に比べ 489 人増加した。
- 専修学校（専門課程）進学者は 5,543 人（男 2,203 人、女 3,340 人）で、前年に比べ 99 人増加した。
- 専修学校（一般課程）等入学者は 1,413 人（男 911 人、女 502 人）で、前年に比べ 513 人増加した。
- 公共職業能力開発施設等入学者は 120 人（男 109 人、女 11 人）で、前年に比べ 27 人減少した。
- 就職者数は、7,134 人（男 4,095 人、女 3,039 人）で、前年に比べ 222 人増加した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者 7 人（男 2 人、女 5 人）を含んでいる。
- 現役高校生の大学等進学率は 53.1%（全国 53.2%）で、前年に比べ 0.1 ポイント低下した。男子の進学率は 52.7%（全国 50.9%）、女子は 53.5%（全国 55.5%）で、前年に比べ男子は 0.8 ポイント低下し、女子は 0.7 ポイント上昇した。

図26 高等学校卒業生数、大学等進学率及び就職率の推移

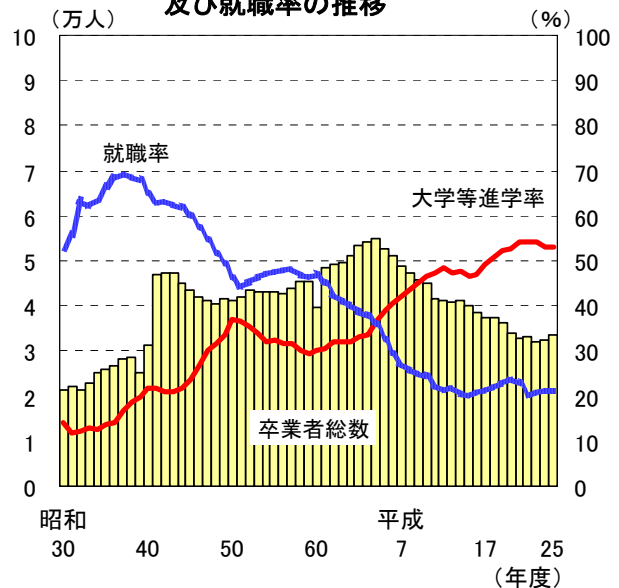


図27 高等学校卒業生の進路別内訳

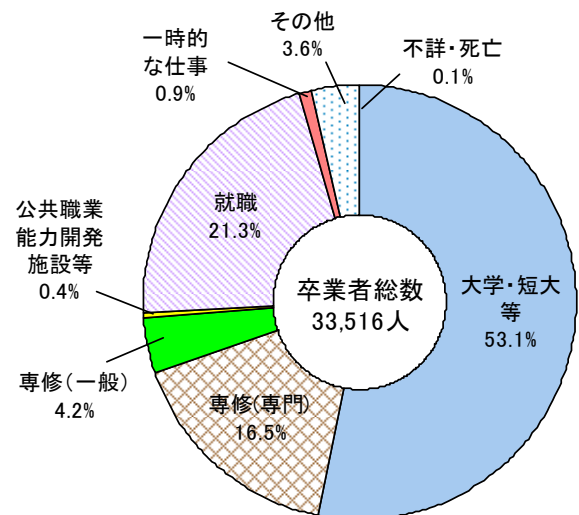
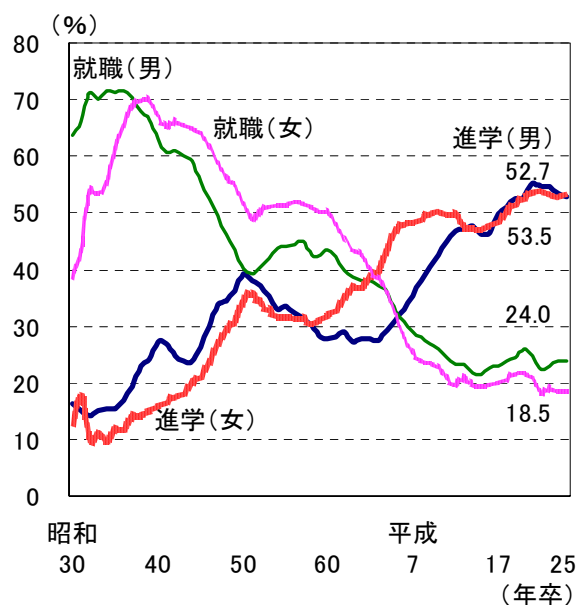


図28 男女別大学等進学率、就職率の推移



(2) 大学等進学者及び大学等進学率

- 大学等進学者のうち、大学学部及び短期大学本科への進学者数は 17,762 人で、前年に比べ 484 人増加した。

- 大学学部への進学者数は 16,051 人(男 8,854 人、女 7,197 人) で、前年に比べ 358 人増加し、全卒業者に占める割合は 47.9%となっている。

- 短期大学本科への進学者数は 1,711 人(男 113 人、女 1,598 人) で、前年に比べ 126 人増加した。全卒業者に占める割合は 5.1%となっている。

- 男子の大学学部への進学率は 51.9%で、前年に比べ 1.0 ポイント低下した。一方、短期大学本科への進学率は 0.7%で、前年に比べ 0.1 ポイント上昇した。

- 女子の大学学部への進学率は 43.7%で、前年に比べ 0.3 ポイント上昇した。一方、短期大学本科への進学率は 9.7%で、前年に比べ 0.4 ポイント上昇した。

図29 男女別大学、短大進学率の推移

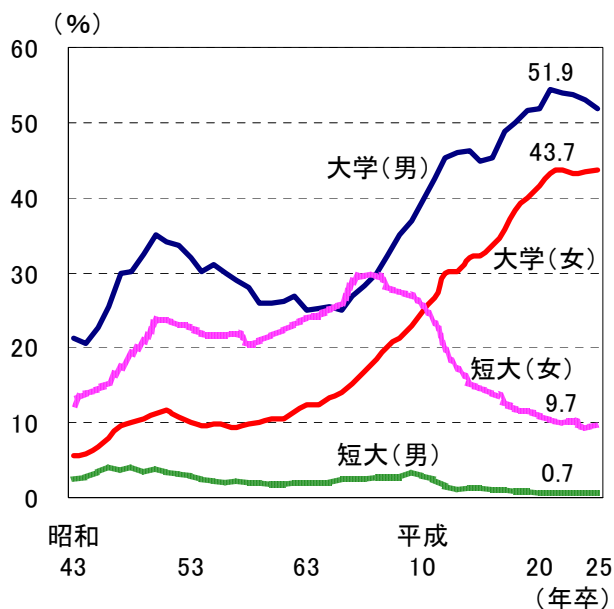
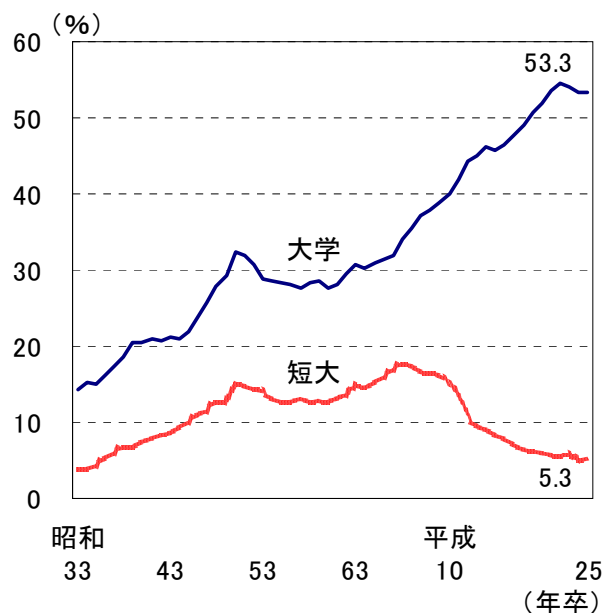


図30 大学学部、短大本科への志願率の推移



(3) 大学等への志願者数及び志願率

- 大学学部及び短期大学本科への志願者数(過年卒業者を除く)は 19,637 人(男 10,230 人、女 9,407 人) で、前年に比べ 601 人増加した。

- 大学学部への志願者数は 17,858 人(男 10,102 人、女 7,756 人) で、前年に比べ 486 人増加した。

- 短期大学本科への志願者数は1,779人（男128人、女1,651人）で、前年に比べ115人増加した。

- 本年3月卒業者の大学学部及び短期大学本科への志願率は、それぞれ53.3%、5.3%で、前年に比べ、大学は0.1ポイント低下し、短期大学は0.2ポイント上昇した。

(4) 就職者及び就職率

- 就職率は21.3%（男24.0%、女18.5%、全国17.0%）で、前年と同じであった。

- 就職者数を産業別にみると、製造業が3,378人（全体の47.4%）で最も多く、次いで医療・福祉663人（同9.3%）、卸売業・小売業625人（同8.8%）、宿泊業・飲食サービス業429人（同6.0%）、生活関連サービス業389人（同5.5%）、建設業379人（同5.3%）の順となっている。

- 職業別にみると、生産工程従事者が3,404人（全体の47.7%）で最も多く、次いでサービス職業従事者1,403人（同19.7%）、事務従事者647人（同9.1%）、販売従事者513人（同7.2%）の順となっている。

- 就職者総数のうち、県外へ就職した者は420人（男290人、女130人）で就職者総数の5.9%（全国18.0%）を占め、前年に比べ0.1ポイント低下した。

- 県外就職者の都道府県別就職先は、愛知県が141人、次いで東京都135人、神奈川県74人の順になっている。

図31 産業別就職者の内訳

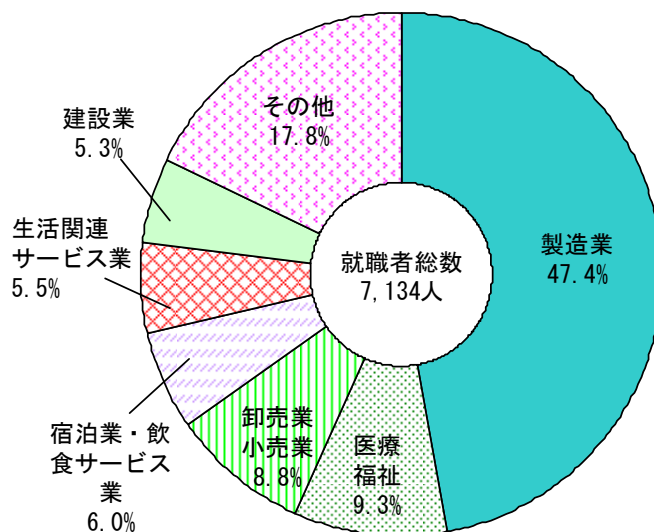
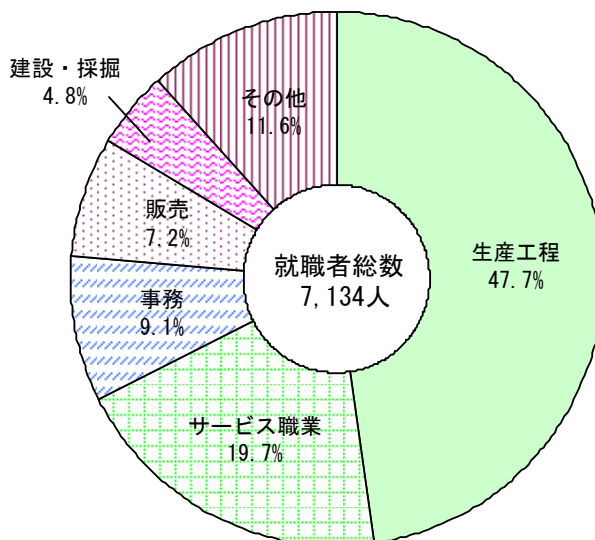


図32 職業別就職者の内訳



(通信制)

- ・平成24年度間の卒業生数は291人（男115人、女176人）で、前年度間に比べ20人増加した。
- ・進路別にみると、大学等進学者が40人（全体の13.7%）、専修学校（専門課程）進学者44人（同15.1%）、専修学校（一般課程）進学者5人（同1.7%）、公共職業能力開発施設等進学者1人（同0.3%）、就職者45人（同15.5%）、その他156人（同53.6%）となっている。

3 特別支援学校卒業後の状況

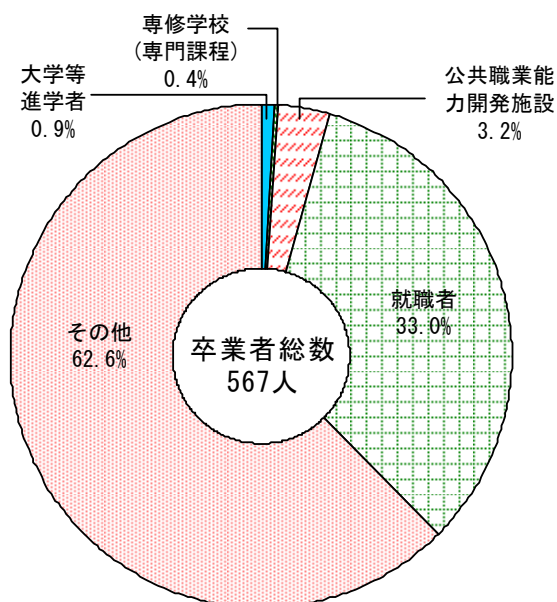
(1) 中学部の進路別卒業生数

- ・平成25年3月の中学部卒業生数は344人となっている。
- ・高等学校等進学者は323人で、高等学校等進学率は93.9%となっている。

(2) 高等部の進路別卒業生数

- ・平成25年3月の高等部卒業生数は、567人となっている。
- ・大学等進学者は5人で、大学等進学率は0.9%となっている。
- ・就職者数は187人で、就職率は33.0%となっている。

図33 高等部卒業生の進路別内訳



[不就学学齡児童生徒調査]

1 就学免除者

- ・ 就学免除者は、学齡児童（6～11歳）6人、学齡生徒（12～14歳）0人で、前年に比べ5人増加した。

2 就学猶予者

- ・ 就学猶予者は、学齡児童6人、学齡生徒9人の計15人で、前年に比べ17人減少した。

3 1年以上居住不明者

- ・ 1年以上居所不明者は、学齡児童9人、学齡生徒3人の計12人で、前年に比べ1人増加した。

4 学齡児童生徒死亡者

- ・ 平成24年度間に死亡した者は、学齡児童2人、学齡生徒8人の計10人で、前年度間に比べ2人減少した。

[学校施設調査]

1 学校建物面積

- ・ 私立学校の建物面積は1,260,316㎡（設置者所有1,246,653㎡、借用13,663㎡）で、前年度に比べ13,039㎡増加した。
- ・ 私立学校の設置者所有建物を構造別にみると、木造2.4%、鉄筋コンクリート造60.2%、鉄骨造その他37.5%となっている。
- ・ 公立の専修学校の建物面積は47,691㎡（設置者所有47,620㎡、借用71㎡）で、前年度と同じであった。
- ・ 公立の専修学校の設置者所有建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート造が71.9%、鉄骨造その他28.1%となっている。

2 学校土地面積

- ・ 私立学校の土地面積は3,198,597㎡（設置者所有2,599,294㎡、借地599,303㎡）で、前年度に比べ45,526㎡増加した。
- ・ 公立の専修学校の土地面積122,574㎡（設置者所有99,269㎡、借地23,305㎡）で、前年度と同じであった。